

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

長期優良住宅「南九州の家」

グループの名称

長期優良住宅南九州の家協議会

直近採択グループ番号

06-0539-0796

(グループ代表者)

代表者名

平澤 正幸

代表者印

代表者所属先

株式会社マルヒラ

代表者所在地

鹿児島県鹿児島市東開町4-18

代表者電話番号

099-268-3171

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社マルヒラ

事務局担当者名

東 孝行

印

事務局郵便番号

891-0115

事務局所在地

鹿児島県鹿児島市東開町4-18

事務局電話番号

099-268-3171

事務局FAX

099-267-9818

事務局担当者E-mail

maruhira@po2.synapse.ne.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	長期優良住宅「南九州の家」
2. グループの名称(必須)	長期優良住宅南九州の家協議会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0539-0796
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	鹿児島県及び九州各県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	平澤 正幸
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社マルヒラ
8. グループ代表者所在地(必須)	鹿児島県鹿児島市東開町4-18
9. グループ代表者電話番号(必須)	099-268-3171
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社マルヒラ
11. グループ事務局担当者名(必須)	東 孝行
12. グループ事務局郵便番号(必須)	891-0115
13. グループ事務局所在地(必須)	鹿児島県鹿児島市東開町4-18
14. グループ事務局電話番号(必須)	099-268-3171
15. グループ事務局FAX番号(必須)	099-267-9818
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	maruhira@po2.synapse.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	7	
II. 製材・集成材製造・合板製造	11	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	1	
V. 設計	4	
VI. 施工	8	/
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	国産材	/	3	国内	
	<input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外	
	認証かごしま材認証制度を利用する	鹿児島		認証かごしま材認証制度	1	国内
	かごしま材の証明を利用する	鹿児島		かごしま材の証明	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	経験棟数や会員様、ヒヤリングシートの回答の施工時期など事務局内での協議にて決定し、外れた事業者は他の採択型への変更、又は次回採択時優先としますが、事務局内で協議し確定する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長期優良住宅「南九州の家」	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県及び九州各県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 長期優良住宅南九州の家協議会	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0539-0796	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	台風通過地であり、地震も活性化している事を重視し、耐震等級を重視する。 九州は日本では南端に位置するが、寒暖差が大きい事を重視し、平成25年度基準の断熱性能とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	軟弱地盤であるため、地盤調査を行い5ポイントのデータを取る。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	桜島等の火山の後輩の影響が大きく、室内に洗濯物を干せないことが多い事を考慮し、室内に物干し設備を設ける。	◎
④①～③の背景	1. 近年の地球温暖化に伴い、九州に接近する台風勢力の拡大のため、耐風性能の向上が必要とされる。 2. 難関80日程度真夏日があり、また冬季は大陸からの寒気を受け降雪もある。 3. 特に南九州においては桜島の火山活動に伴う降灰の影響で、その他の地域においては大陸からのPM2.5の飛散の影響で窓が開けられず、生活の妨げとなっている。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当地域は中小工務店が多く活躍しているが、昨今の2020年の省エネ義務化等に代表される、昨今の施策情報に疎い部分が多い。 当グループは業界の変化速度に追いつく体制作りの支援を行い、すべての構成員が経験事業者となることを目標とする。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 昨年度長期優良住宅「南九州の家」のカタログ作成し、施工業者に配布。これにより地域材のPRと、基本となる寸法の規格化している。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 昨年度長期優良住宅「南九州の家」のカタログ作成し、施工業者に配布。これにより省エネ機器等の共通仕様により、統一を図っている。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 昨年度長期優良住宅「南九州の家」のカタログ作成し、施工業者に配布。これにより省エネ機器等の共通仕様を設定している。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 昨年度長期優良住宅「南九州の家」のカタログ作成し、施工業者に配布。共通仕様書でグループ内の共同化を行い、これにより調達する建材資材等の調達事務の合理化を行っている。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 共通仕様書でグループ内の共同化を行い、これにより調達する建材資材等の調達事務の合理化を行っている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 推進委員会の設置により運営など、各構成員に年1回程度集まっている。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 当委員会の招集。新規施策や制度の案内。申請手続きなど。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅瑕疵担保責任保険の設計基準を活用。劣化対策等級2相当以上とする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 引渡し前に顧客と施工店が現場立会いを行い、見積り内容との整合を確認する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: メーカー名や品番等顧客が理解しやすい提示方法やグループ内での統一見積り書式を使用する	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 統一パンフレットの作成。 顧客に工場見学会に参加頂き、自身の家が実際にプレカット加工されるのを見て頂く。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 週休2日制の実現に向け、長期間労働の削減と現場閉所日を可能な限り増やす。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会等での周知・指導により、保険加入の積極的な促進を図る。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年1.2回の会合で、労働災害発生状況を把握・分析し情報を共有する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	WEBカメラ設置や、履歴情報機関(いえかるて)の利用による「現場の見える化」を推進し、広く地域型住宅の施工内容を公開できるようゼロエネルギー住宅についての省エネ性能は平成28年省エネ基準以上とし、住宅版BELS認証を取得する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長期優良住宅「南九州の家」	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県及び九州各県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 長期優良住宅南九州の家協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0539-0796	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計図書等の情報は住宅履歴情報サービス等に保存する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで定めた維持管理計画書に基づき維持管理をする際に活用。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 御施主に引渡し時に、「南九州に家向上委員会」(以下、当委員会)に証明書を提出。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店により点検ルール内容が異なった為、グループ構成員と協議の上、共通ルールを平成29年8月中に維持管理計画書の策定。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工店により補修のルールが異なった為、グループ構成員と協議の上、非常時の点検、補修の共通ルールを平成30年8月までに企画制作する	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 平成30年8月に策定した点検補修実施内容に基づき、点検補修後に当委員会に証明書を提出。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 展示会等の前後に当委員会が召集の上、各メーカーの新商品の勉強会等の会合を年4回持っている。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 昨年度は御施主様の子供が遊べるよう木製の玩具を作成など、各工務店で行っている。但しグループとして本年度は平成30年8月までに企画作成する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 昨年度は、上記以外の企画が出来なかった為、本年度については実施の有無を含めて平成30年度8月までにイベント等での相談会等の企画作成する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 株式会社 マルヒラ、株式会社NSレジデンスがメンバーとなった委員会を年2回行った。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 平成30年8月に策定したその他の維持管理実施内容に基づき、点検補修後に当委員会に証明書を提出。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 請負契約時や引き渡し時にグループ構成委員名簿と消費者相談窓口を提示する。当委員会は倒産・廃業時に施工の出来る施工構成委員を顧客へ紹介する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 昨年度は上記以外の企画が出来なかった為、本年度については実施の有無を含めて平成30年8月までに企画作成する。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事務局は消費者相談窓口より収集できた情報を各構成委員にフィードバックする。		○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 鹿児島県が主催する住宅省エネルギー技術講習会(設計・施工技術者講習会)への案内を定期的に(年3回)特に未経験工務店行う。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材の躯体プレカット時の各項目チェックによる品質管理、新建材等は配送時の2重チェックによる品質管理。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカットはQC工程表とプレカット作業手順書による確認、新建材は出荷時の伝票チェック及び運搬後の伝票チェックによる確認。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の需要、供給の策定する。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ義務化に向けて適合率向上のための講習会を受講する。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計時に外皮計算等を行い、施工店への支援や協力を行う。地域材についてはグループとして受注状況や施工時期等の情報をⅠ-原木供給者やⅡ-製材等に定期的に提供する。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 2	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 0	◎
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会で対象リストを元に、参加の有無の定期的(年3回)な確認。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: HEMS, スマートハウス等に使用される蓄電池等、外部展示会や見学会に参加する。	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新商材等を導入する顧客の協力の上ではあるが、定期的な訪問で実証実験を行い、データを作成の上、将来的にはホームページやパンフレット等フィードバックしていく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特にありません。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長期優良住宅「南九州の家」	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県及び九州各県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 長期優良住宅南九州の家協議会	(結成年) 2012 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0539-0796													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	土台=杉(鹿児島県産材・認証かごしま材認証制度:国内)、桧(合法木材・合法木材認証制度:国内)。 柱=杉(鹿児島県産材・認証かごしま材認証制度:国内)、桧(合法木材・合法木材認証制度:国内)。 梁・桁=杉(鹿児島県産材・認証かごしま材認証制度:国内)、桧(合法木材・合法木材認証制度:国内)。												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	別紙資料(認証かごしま材認証制度イメージ図)を参照。												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 鹿児島県で作成している鹿児島県産材のパンフレットの活用。事務局は木材流通と協力して在庫確認をする。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: かごしま木材ネットを利用している。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工店への見積り時にヒヤリングを行い、在庫量の一括管理と一括発注を行う。需給変動の多い地域材については予測を施工構成員に通知する。												
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地産地消を考慮し、火山灰を使用した内装材(塗り壁)や地域材を用いた内装材の提案を行う。												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材を利用した木塀の活用により、統一感のある街並み形成への取り組みを行う。												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特にありません。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組	完成見学会の開催時の来客者への記念品や、顧客にカレンダー配布時のお土産として、東日本の特産物を選び、東日本大震災からの復興に帰衣する。												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	隣接県でもあるので、合法木材を使用する際に熊本県の仕入業者に優先的に発注を行い、熊本地震からの復興に帰衣する。												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 長期優良住宅「南九州の家」	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 鹿児島県及び九州各県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 長期優良住宅南九州の家協議会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0539-0796	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p> <<高度省エネ型の特徴>> 外皮の高断熱化に加え、長寿命化またはさらなる省エネルギーを促進する。 ※ 認定低炭素住宅 平成25年度省エネルギー基準とした木造住宅をグループの標準仕様と節水機器もしくはHEMSのどちらかを採用する。 但し、グループとして御施主様には平成28年度省エネルギー基準以上で住宅版BELS認証を推進する。 ※ ゼロエネルギー住宅 平成28年度省エネルギー基準以上とし、住宅版BELS認証を取得する。 高効率給湯機器またはリビング、主寝室の2か所を高性能エアコンを設置。 照明機器はすべてLED照明とする。 九州地区は平均日射時間が長く太陽光発電システムには適しているため、システム容量4~5kw搭載でエネルギー消費量ゼロを目指す。 ※詳細は別紙資料(高度省エネ型の特徴 資料)を参照。 </p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。